

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

早く行きね。

Q2. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

知らねば、答へず。

Q3. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

月出でねば、暗し。

Q4. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

疾く往ね。

Q5. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

来（き）ねば、皆喜ぶ。

Q6. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

静かに寝（ね）にけり。

Q7. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

言はねば、知らず。

Q8. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

早く帰りね。

Q9. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

死ねと言ふ。

Q10. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

思はねど、口に出す。

Q11. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

春来（こ）ねば、花咲かず。

Q12. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

行かねば、ここに居る。

Q13. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

露置きね。

Q14. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

我れ寝ねば、夢を見ず。

Q15. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

待たれねば、来べし。

Q16. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

御供仕うまつりね。

Q17. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

月隠れねば、なほ明し。

Q18. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

物言はねども、目に物言ふ。

Q19. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

寝ねにけり。

Q20. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

知りね。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

雨降りねば、行かず。

Q22. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

来ねかし。

Q23. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

知らねど、答ふ。

Q24. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

死ねよ。

Q25. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

よく寝ねばこそ、頭痛し。

Q26. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

急ぎ往ね。

Q27. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

思はねばこそ、口に出さね。

Q28. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

人來（こ）ねば、独りなり。

Q29. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

問へど答へねば、いと怒れり。

Q30. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

死ねかし。

Q31. 次の傍線部「な」を識別せよ。

我れ帰りなばや、と思ふ。

Q32. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

寝ねばこそ夢見ね。

Q33. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

あらはさぬこと。

Q34. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

早く立ちね。

Q35. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

物言はねこそ、奥ゆかしけれ。

Q36. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

春過ぎて夏来ねど、暑し。

Q37. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

知らねな。

Q38. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

行かねばこそ、止む。

Q39. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

露置きねかし。

Q40. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

寝ねたり。

Q41. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

物食はねば、瘦す。

Q42. 次の傍線部「ぬれ」を識別せよ。

死ぬれども蘇る。

Q43. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

帰らねば、と問ふ。

Q44. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

急ぎ来ね。

Q45. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

言はぬにしも、自づから知る。

Q46. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

寝ねば、目覚めず。

Q47. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

仕うまつりねかし。

Q48. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

知らねばや。

Q49. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

行かねば、留まる。

Q50. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

急ぎ立ちねかし。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

風吹かねば、波立たず。

Q52. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

月隠れねば、なほ明けず。

Q53. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

春来（き）ねば、花咲く。

Q54. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

雪降りねば、白し。

Q55. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

我が思ふこと言はねど、知る。

Q56. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

帰りねかし、と思ふ。

Q57. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

あらはねば、人知らず。

Q58. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

心知らねばや、と問ふ。

Q59. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

早く起きね。

Q60. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

寝ねばよかりしものを。

Q61. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

物言はねこそありけれ。

Q62. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

月待たねども、出でぬ。

Q63. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

来（き）ねば、待つ。

Q64. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

雨止みねば、出づ。

Q65. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

思ひ寄らねば、答へず。

Q66. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

いざ往ね。

Q67. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

待たれねば、自ら来。

Q68. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

露置きねばこそ、葉の青し。

Q69. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

知りねかし。

Q70. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

心慰めねば、悲しさ消えず。

Q71. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

寝ねばこそ、月見つれ。

Q72. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

物食はねど、太れり。

Q73. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

早く帰りねかし、と母言ふ。

Q74. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

寝ねぬる人。

Q75. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

思はねば、口に出さず。

Q76. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

死ねとのみ言ふ。

Q77. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

あらはねど、知らる。

Q78. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

急ぎ往ねかし。

Q79. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

雨降りねば、川あふる。

Q80. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

寝ねばや、と思へど、寝られず。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

ありがたきもの。舅にほめらるる婿。また、姑に思はるる嫁の君。毛のよく抜くる銀の毛抜き。主そしらぬ従者。

Q82. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

来（き）ねば、なほ待つ。

Q83. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月は隈なきをのみ見るものかは。雨に向かひて月を恋ひ、垂れこめて春の行方知らぬも、なほあはれに情け深し。

Q84. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと（伊勢物語）——この歌を聞きて、舟こぞりて泣きにけり。さながらしらせ給はねば、なほ船人みな涙にむせぶ。

Q85. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

もの隔てて聞けば、宮の御方より、御文奉り給ふ。「いとあやしき御使ひかな。早く帰りねかし。」と仰せらる。

Q86. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

風吹けば沖つしらなみたつた山夜半にや君がひとり越ゆらむ——この歌は、伊勢物語にもみえ、人々の口の端にのぼれども、その心知らねばこそ、ただ風雅とのみ思ふらめ。

Q87. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

夜半にやひそかに往ねと仰せられければ、御簾の内よりしのびて出でぬ。

Q88. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

心のうちに思ふことども、人に知られねばこそ、なほ深く悩むなれ。

Q89. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

我もまたかかる病にかからむことを知らねば、人ごととばかり思ひゐたるなり。

Q90. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

寝ねばこそ、心は澄み渡れ。

Q91. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

内裏より召しありければ、御供仕うまつりねと命じ給ふ。

Q92. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

月の出でぬ夜は、なほさうごうし。隈なき月のかげに照らされねば、人の心の奥も見えず。

Q93. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

早く立ちね、と道行く人を急がし給ふ。

Q94. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

我が宿は道もなきまで荒れにけりつれなき人を待つとせし間に——この歌、心ある人にあらねば、なかなかかなしさ深く感ぜず。

Q95. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

いみじき宿世の人にしあらねば、かかる目にも遭はぬなり。

Q96. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

春は名のための風の寒さや。谷の鶯歌は思へど、時にあらねばこそ、声を立てね。

Q97. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

笛の音絶えねば、なほ夜更けず。

Q98. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

春の夜の闇はあやなし梅の花色こそ見えね香やはかくるる（古今和歌集）

Q99. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

神無月のころ、栗栖野といふ所を過ぎて、ある山里に尋ね入ること侍りしに、（中略）住む人のあらねばこそ、かくは荒れたれ。

Q100. 次の傍線部「ね」を識別せよ。

世に語り伝ふること、まことはあいなきにや、多くは皆虚言なり。されば、その道を知らねば、聞きながら、まことと心得てしまふも、をかし。